

教員評価

「一元的な数値化避けたい」

岩崎教授インタビュー

「895票に責任を痛感」

授業評価 フォローを重視

国立大学法人化に向けて、組織や運営の見直し作業が進むなか、法人化後初の学長が岩崎洋一前副学長(物理学系教授)に決定した。教育・研究・経営面で課題が山積する(本紙・山口圭一「社会学類」)

今回の学長選挙には、岩崎教授が一人しか推薦がありませんでした。法人化を目前に、選挙でエネルギーをより学内で統一候補を立てようという機運が高まったのではな

公示後、8回のミニ集会を開いた。平均30、50人の教員が参加し、意見交換ができた。過去の学長選挙にはなかったものだ。結果、意向調査で895票を獲得しましたが、有り難いと思うことも

に、責任を痛感している。学内の信任を得ることができたと考えている。

所信表明で、運営の効率化と経営システムとの確立を訴えているが、具体的に、



本学の将来像を語る岩崎教授(自然科学系棟4階、岩崎教授の研究室で)

まず、利潤の追求が大学の目的ではないことを確認しておきたい。効率性を求める社会からの厳しい要求と大学の自主・自律性とのバランスが大切だ。

しかし、教育・研究の質を向上させるために、執行部で目標を立て、予算や人材を適切に配分してゆく。教育・研究は費用がかかる。日本は欧米に比べ、GDP(国内総生産)に占める研究費の割合が低い。必要な経費はきちんと要求する。経費を削減するだけの後ろ向きな立場を取ってはいけない。

また、財務諸表を作成し、大学の財務を明確にした

進ずる。予算配分に不可欠な、教員・組織の評価が大きな問題になる。

まず、論文リストや外部資金の獲得など基礎データを可視化する必要がある。次に、各組織には尺度となる「はかり」を作ってもらい、できれば1年以内で学内に公表する。「はかり」は世界に通じるものでなければならぬ。将来的には学外にも公表したい。

ただ、評価は多面的であるべきで、一元的な数値化は避けるべきだ。

所信表明書にある「研究プロジェクト企画室」とはどういうものか。

21世紀COEなど外部の公募プロジェクトを充実し、採択増を目指す。各研究分野から若手研究者を計50人募り、非常勤で室員に

してもらった。組織の長で構成せず、実質的に働いてもらおうという趣旨だ。

大学院重視の中で、学群教育が取り残されないか心配する学生もいます。

産学連携会(TOMO) 来年1月設置へ 会員に優先情報

会員となった民間企業などへむけ、優先的に研究成果・情報を提供する。筑波大学産学連携会(TOMO)が、来年1月をめどに設置されることになった。10月15日には、高木英明副学長(研究担当)を室長とする同会設立準備室が設置された。

同会は、法人化後、研究成果の社会還元が求められている実情を踏まえ、企業

大学院重視は、国立大として必要だが、学群教育ももちろん重要だ。

学生の声を聞き、系統的なカリキュラムを組む。今年、学生による全学的な授業評価が行われたが、この

同研究のコーディネートのほか技術指導・コンサルティングなどを受けることができる。会員には、専用のホームページを通じて情報提供を行う。

本学は、産学連携活動に力を入れており、企業などを対象とした研究会やセミナーなどを開催してきた。また、今年9月には産学連携組織を一本化するため、財務本部を廃止させている。高木副学長は、年間費も5万円という低価格に設定した。多くの企業に会員になってもらい、気軽に本学を訪れてもらえるようにしたい」と語っている。

同研究のコーディネートのほか技術指導・コンサルティングなどを受けることができる。会員には、専用のホームページを通じて情報提供を行う。

本学は、産学連携活動に力を入れており、企業などを対象とした研究会やセミナーなどを開催してきた。また、今年9月には産学連携組織を一本化するため、財務本部を廃止させている。高木副学長は、年間費も5万円という低価格に設定した。多くの企業に会員になってもらい、気軽に本学を訪れてもらえるようにしたい」と語っている。

携していきたい」と抱負を語った。

来賓挨拶で、白川名誉教授は「センターの設立には直接関係していないが、物質科学分野の総合的な研究に貢献してほしい」と期待を語った。来賓として、白川名誉教授とノーベル賞受賞者4人が集う「白川センター」開所式

ノーベル賞 受賞者 4人が集う

ノーベル賞受賞者4人が集う。学際物質科学研究センターの開所式が10日、大学会館講堂でおこなわれ、250人の教員・学生が参加した。

同センターは、白川英樹(物質工学系教授)が名誉教授の功績を記念して設置されたもので、白川セ

内には集計結果の一部を載せた「速報版」も公表される予定だ。

教育計画室長の清水一彦教授(教育学系)によると、集計にさいして「回答者の少ない科目の結果を出すかなどが検討されている。集計結果は学群長に報告し、どう利用するかは、それぞれの学群に任せ、速報版には回収率や質問項目ごとの回答分布が掲載される。科目ごとの集計結果は公表されない。

全学学群・専門学群代表者会議(全代会)は、10月23日から授業評価に関するアンケート用紙の配布を始めた。現在回収、集計作業を進めている。

元教授を書類送検 無資格で数回譲渡

覚せい剤不正譲渡 本学の元教授らによる覚せい剤不正譲渡問題で茨城県は10月28日、臨床医学系の元教授(66)を覚せい剤取締法違反の疑いで水戸地検に書類送検した。県には逮捕、送検の権限を持つ麻薬取締員がいる。

県業務課によると、元教授は98年2月ごろから翌年6月ごろまで、製薬会社から本学に納入された覚せい剤の塩酸メタンフェタミン(商品名「ロポン」)計0.105グラムを、覚せい剤取締法が定める「覚せい剤研究者」の資格がない基礎医学系の元教授に数回譲渡した疑い。「違反の認識はなかった」と話しているという。

譲り受けた元教授は、研究用にラットやマウスに注射したという。

秒読み

国立大学法人化

10月16日の定例記者会見で、菊池副学長(教育担当)が記者の質問責めにあった。質問は、この日公表された「中期目標・中期計画」冒頭の「筑波スタンダード」に集中した。

「広い視野、豊かな人間性及び確かな学力の到達レベルを『筑波スタンダード』として設定する」

この一文について「成績評価とは別か」「数値目標は入るか」「評価

卒業生の「品質保証」に戸惑い

がどこにあるのかを改めて実感したという。

中期目標・計画は、法人化後6年間の教育・研究・運営の指針だ。いかなる大学を目指すのか、社会への決意表明でもある。達成度は運営費交付

にしたものだ」と説明する。いわば卒業生の「品質保証」といえる。

発案者が誰なのかは「分からない」。独自性を盛り込みたい、という議論の中から出てきた」と鈴木室長は話す。

「生物学の研究者・教育者育成」を目指す生物学類は、数値目標に積極的に踏み込んだ。TOEIC・TOEFLの点数70パーセント以上を目指す英語教育、3年時履修の「生物学演習」は英語

「生物学的に認められる必要がある」という。工学システム学類などと協力し、日本技術者教育認定機構(JABIE)の認定を得られるようなカリキュラムを作成する。

「筑波スタンダードと

金の算定につながる。

学群教育の目標として掲げた「筑波スタンダード」を鈴木久敏企画調査室長(社会学系教授)は「筑波大はどういう教育をするか。卒業生の能力の最低基準を設定し、受験生や企業が筑波大生イメージを持てるようにする」と話している。

会見の2日前に菊池副学長から要請を受け、学群・学類は「スタンダード」の具体化に着手した。10月未だで原案をまとめ、11月17日の教育審議会で提出する。雲をつかむようなテーマを短時間でまとめる。頭の痛い作業が続いた。

論文を10本以上読む。2万字以上のレポートを書く。などを最低限必要な能力としている。

「工学士育成」を掲げる工学基礎学類の戸嶋信幸教授(物質工学系教授)は「筑波大で通用するスタンダードでは意味がない。(工学士として)

一方、文系の学類にはなじまないのでは」と辻中豊社会学類長(社会学系教授)は首を傾げる。「社会科学の分野にスタンダードなんてあるのかな」と懐疑的だ。

「期待されているような具体的な目標は立てられない」ともいう。

比較文化学類長の川那部保明教授(現代語・現憲「社会学類」)

代文化学系教授)も「安易に数値化したら、教育は硬直化してしまう」と危惧する。

教育計画室長の清水一彦教授(教育学系)は「米国には、約5年に一度教育内容を審査するアカラリテーションという制度がある。日本は、そういう教育の質を保証するシステムを作って来なかった。スタンダード設定で、事後チェックが明確になる」とみている。

菊池副学長は「バラバラな意見が出るのは仕方ない」と話す。法人化まであと5カ月。総合大学にふさわしいスタンダードは、果たして出来上がるのか。(本紙・時田備憲「社会学類」)



写真左から、白川本学名誉教授、ヒーガー教授、マクティアミド教授、江崎本学前学長(大学会館講堂で)

北原保雄学長の挨拶に続き、赤木和夫同センター長(物質工学系教授)が「個々の専門研究をしながら、絶えず異なる分野と連携も出席した。」

記念講演として、本学前学長の江崎玲於奈芝浦工業大学長が「限界への挑戦」と題して講演を行った。

11日には同センターの開所記念講演会が行われ、290人が参加した。

授業評価 年内に結果公表 一部「速報版」で

新学務システム「サインズ」を利用した授業評価の集計がまとまった。17日の教育審議会で回収率など大きな結果が報告される。年

616個人・団体会員に 留学生後援会が1周年

今年度も会員を募集

本学の外国人留学生を支援するため昨年9月に発足した「筑波大学外国人留学生後援会」が、設立から1年を迎えた。平成14年度の会員は本学の教職員511人、名譽教授82人、支援団体など23団体の計616の個人・団体。寄付者は、3個人・団体。会費などとして298万7千円集まり、11月7日までに25万円を支出した。

同会は、留学生の日本の生活を円滑にするため、不測の事態が生じた場合に支援するほか、賃貸住宅に同居する際の連帯保証、一時金貸し出しなどを行う。対象は、留学ビザを取得している外国人留学生。

今年2月下旬に事業を開始した。大阪に本社のあるバルブ会社に内定した八比呂が長引く、内定を勝ち取るのは年々、難しくなっている。留学生にとって日本の就職活動は、戸惑い連続だった。最も苦労したのが、言葉の壁だ。それを痛感したのは筆記試験だった。日本語に堪能でない留学生にとって、決定的に不利だといっているのは67人にすぎない。日本国内で就職した留学生は9人。未定や就職活動中が16人だった。

「日本の就職活動を知らない私たちは、何から始めればいいのか、それすらも知らなかった」という。メキシコでは、卒業後の進路を把握し、面接でもスムーズな受け答えができず、黙り込んでしまつこともあった。

「日本の就職活動を知りたい」という留学生は、同会設立のきっかけとなったのは昨年1月、エルサルバドルからの留学生、ガルドメス・ウィリアムさん(教育研究科外国人教員研修留学生、当時31歳)が肺炎で亡くなったことだった。当時、留学生を支援するシステムはなく、連帯保証費用や母親の渡航費用などがカンパで賄われた。

「設立から、現在まで緊急支援を必要とする留学生はいない。だが、いつガルドメスさんのような事態が発生するかわからず、会費は今年度以降も必要だ。積極的に会員を募集したい」と留学生課はいう。

同会では、平成15年度の会員の募集をしている。会費は10千円以上。申込期間は12月8日から24日まで。申込期間外の入会も受け付けている。問い合わせは、同会事務局(029・853・6060)。

ストープ貸出開始

宿舍の全留学生に拡大

留学生課は、11月7日から学生宿舎に住む外国人留学生に電気ストープの貸し出しを開始した。期間は、来年3月25日まで、先着順に受け付ける。

留学生課は、11月7日から学生宿舎に住む外国人留学生に電気ストープの貸し出しを開始した。期間は、来年3月25日まで、先着順に受け付ける。

個別審査に学則改正 朝鮮学校生も対象に

朝鮮学校卒業生に大学入試の受験資格を認めるかどうか、大きな社会問題になっているが、本学は各種資格取得者や科目等履修生なども含めて、個別審査することを決めた。審査は個別入学資格審査会が行う。

9月19日、学生募集要項の受験資格に「個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達するもの」という項目を追加し、審査申請を28日まで受け付けている。これによって多様な学習歴を評価できるとしている。

文科省省令はこれまで、外国人学校の卒業生に対して国立大学の受験資格を認めてこなかった。しかし、この9月、外国人学校のうち、中華学校や韓国学校

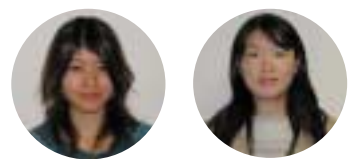
貸し出し用ストープは、昨年まで、70台と台数に制限があったため、経済的に負担の大きい私費留学生が対象だった。今年は台数を30台増やし、私費・公費の区別無く貸し出すことになった。

ストープを借りたタイの留学生は、「寒い宿舍生活だから、ストープの貸し出しは助かる」と語った。

貸し出し希望者は、学生証持参で留学生センターへ。100台に達し次第締め切られる。問い合わせは、同課(029・853・6086)。

貸し出し希望者は、学生証持参で留学生センターへ。100台に達し次第締め切られる。問い合わせは、同課(029・853・6086)。

1年生の英語討論会 本学から4人が入賞



佐久間 舞さん 与儀 あゆみさん

審査する道を開いた。上智大学など全国20校から英語サークル約40団体が参加した。

佐久間さんは「準備期間は大変だが、相手をつら負かすときが一番楽しい」と語り、来月のフレッシュマン・フレンドシップ・デイイベント・トーナメント大会では1位をとりたいと意気込んでいる。

また9月に行われた上智大学主催の第38回「ソフィア・インヴェイション・アワード」で、佐久間舞さん(国際1年)と肥後牧人さん(同)がベスト出場し3位を獲得。佐久間さんは個人賞のベストスピーカー賞3位も受賞した。

この大会は有志の大学生が主催する。今回は炭素税をテーマに、早稲田大学や

検証 筑波の国際性

13

秋、就職活動が本格化した。不況による就職難が長引く、内定を勝ち取るのは年々、難しくなっている。留学生にとって日本の就職活動は、戸惑い連続だった。最も苦労したのが、言葉の壁だ。それを痛感したのは筆記試験だった。日本語に堪能でない留学生にとって、決定的に不利だといっているのは67人にすぎない。日本国内で就職した留学生は9人。未定や就職活動中が16人だった。

「日本の就職活動を知りたい」という留学生は、同会設立のきっかけとなったのは昨年1月、エルサルバドルからの留学生、ガルドメス・ウィリアムさん(教育研究科外国人教員研修留学生、当時31歳)が肺炎で亡くなったことだった。当時、留学生を支援するシステムはなく、連帯保証費用や母親の渡航費用などがカンパで賄われた。

「設立から、現在まで緊急支援を必要とする留学生はいない。だが、いつガルドメスさんのような事態が発生するかわからず、会費は今年度以降も必要だ。積極的に会員を募集したい」と留学生課はいう。

留学生の就活事情

秋、就職活動が本格化した。不況による就職難が長引く、内定を勝ち取るのは年々、難しくなっている。留学生にとって日本の就職活動は、戸惑い連続だった。最も苦労したのが、言葉の壁だ。それを痛感したのは筆記試験だった。日本語に堪能でない留学生にとって、決定的に不利だといっているのは67人にすぎない。日本国内で就職した留学生は9人。未定や就職活動中が16人だった。

「日本の就職活動を知りたい」という留学生は、同会設立のきっかけとなったのは昨年1月、エルサルバドルからの留学生、ガルドメス・ウィリアムさん(教育研究科外国人教員研修留学生、当時31歳)が肺炎で亡くなったことだった。当時、留学生を支援するシステムはなく、連帯保証費用や母親の渡航費用などがカンパで賄われた。

「設立から、現在まで緊急支援を必要とする留学生はいない。だが、いつガルドメスさんのような事態が発生するかわからず、会費は今年度以降も必要だ。積極的に会員を募集したい」と留学生課はいう。



留学生センター談話室

経営の知識は、メキシコでは何の役に立たない。あまり話せない留学生を探らないのも仕方ない。探さなければいけない。経営の知識は、メキシコでは何の役に立たない。あまり話せない留学生を探らないのも仕方ない。探さなければいけない。経営の知識は、メキシコでは何の役に立たない。あまり話せない留学生を探らないのも仕方ない。探さなければいけない。

手探りと戸惑いの連続

経営の知識は、メキシコでは何の役に立たない。あまり話せない留学生を探らないのも仕方ない。探さなければいけない。経営の知識は、メキシコでは何の役に立たない。あまり話せない留学生を探らないのも仕方ない。探さなければいけない。

留学生の目



牛 氷

私が2年前初めて日本に来て一番感じたことは、日本の水のきれいさでした。初めて寮に住んだとき、のどが渇いたという、友達に「水道の水、飲めるよ」と言われて、すくすく飲んでみた。飲んでも美味しく、なごみ。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。



日本感 痛める飲めるの水 日本感 痛める飲めるの水

水道水。飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。

水道水。飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。水道の水、飲むのが当たり前。

稲葉 剛さん(デザイン)

カードゲームの定番「花」とどう調和させるか」に苦札をイメージした。3枚の作品全てに「ペンギン」をうまくマッチさせている。視覚伝達デザインコース 稲葉剛さん(芸術3年)の作品「花札ペンギン」。雙峰祭に出品した。

「どんなポーズでもさまになる。結構、おかしな動物」と表現するペンギンは、稲葉さんのお気に入り。「きのこ」や「サボテン」など14種類の画像と組み合わせ、斬新な花札を完成させた。「和」の雰囲気は色の配置で表現した。制作期間は1週間、画像をスクリーンで取り込み、画像編集ソフトを用いて完成させた。



お気に入りのペンギンを使用した作品と並ぶ

花札にペンギンを

現在は、広告代理店を目指して就活中だ。

「http://www.wcintra.net」

「花札ペンギン」を展示している。

色づけが出来るなど効率のよさからコンピュータの普及がもたらした。若いアーティストも知っている作品で、アート展が集まって作品や音楽、コラムなどを紹介する「cintra」のメンバである稲葉さんはホームページ(http://www.wcintra.net)で「花札ペンギン」を展示している。

石川 絢子さん(総合造形)

池の上に直径80センチほどの小山が浮かんでいる。よく見ると、それはすべて5円玉で出来ていた。池があれば、どこにでも小銭を投げ入れてしまう日本人、



6千個の5円玉を使用した作品「小銭のある風景」



制作者の石川さん

5円玉が表す宗教観

「展示中、面白かったのは、池の中に本物の5円玉を投げた人がいたこと。石川さんのいう日本人が、狙った通りの行動を起こしてくれたのだ。」

「全部、ミスマッチなのさ」を心掛けた。花札を素のときにクリックひとつで

「全部、ミスマッチなのさ」を心掛けた。花札を素のときにクリックひとつで

「全部、ミスマッチなのさ」を心掛けた。花札を素のときにクリックひとつで

「全部、ミスマッチなのさ」を心掛けた。花札を素のときにクリックひとつで

「全部、ミスマッチなのさ」を心掛けた。花札を素のときにクリックひとつで

「全部、ミスマッチなのさ」を心掛けた。花札を素のときにクリックひとつで

芸術家のたまごたち

江口 拓人さん(総合造形)

今月末、大学構内のペデストリアン沿いに突如モアイの像が出現する。高さ1.8メートル。表面は見えぬ緑色の緑色。傍らには「ニューヨークと黒板消し。そのこのモアイの表面は黒板になっている。誰でも気軽に落書きができるのだ。」と落書きが出来るのだ。どこでもいことを書かれることを期待しています。そういうのを見てみると楽しいじゃないですか」と語る総合造形コースの江口拓人さん(芸術4年)がこの作品「On a Board from Easter」の作者だ。



作品を持ち上げほほえむ江口さん

ペデにモアイ像出現！

「新しい絵を切り開いて賞に輝いた。現在作品は福井県を中心とした5カ所を巡回中。大勢の美術愛好者の目をひきつけるに違いない。」

岡田 卓也さん(洋画)

白い下に、ピンク、赤、緑などの色が一見無造作に重なり合う。所々に下地が見えるのは、テープを貼った上から色を塗ってはがす、マスキングという手法を使っているからだ。色の空白が、作品にクリアな印象を与えている。



工業用の水性ペンキで絵を描く

「新たな絵を切り開いて賞に輝いた。現在作品は福井県を中心とした5カ所を巡回中。大勢の美術愛好者の目をひきつけるに違いない。」

人との対話待つ絵

「描き終えるたびに作品との対話」という意味も込められている。見たこともないような絵を理解しようとする中で、新たな視点や直す。それが作品に心を開いて欲しい。自分との対話だと思ふ。題名「Dialogue」は、非効率的な手段。しかし、効率を求めたら対話は成立しない。「何を描くか」よりも「どう描くか」にこだわるのは、制作過程そのものが岡田さんの伝えるメッセージだからだ。

長沢 薫さん(書)

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

納得するまで筆を走らす

「題山水」は、書家の個性が強い明清時代を基調とした行書草書の作品だ。まで何百枚、何千枚も書いてきた努力の産物だ。「書を書くのが何より好き」と話す長沢さん。好きな筆の動き。納得いく。



雙峰祭に出品した創作「題山水」と並んで

「題山水」は、書家の個性が強い明清時代を基調とした行書草書の作品だ。まで何百枚、何千枚も書いてきた努力の産物だ。「書を書くのが何より好き」と話す長沢さん。好きな筆の動き。納得いく。

「全く意味のないものでも、人を笑ませることが出来る」と確信した。モアイ像は10月につくばセンター前でも展示され、意味のない落書きで埋め尽くされた。毎晩落書きを消さなければならなかったのは、好評の証だ。幼稚園の先生から「欲しい」という要望も来た。

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。雙峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話



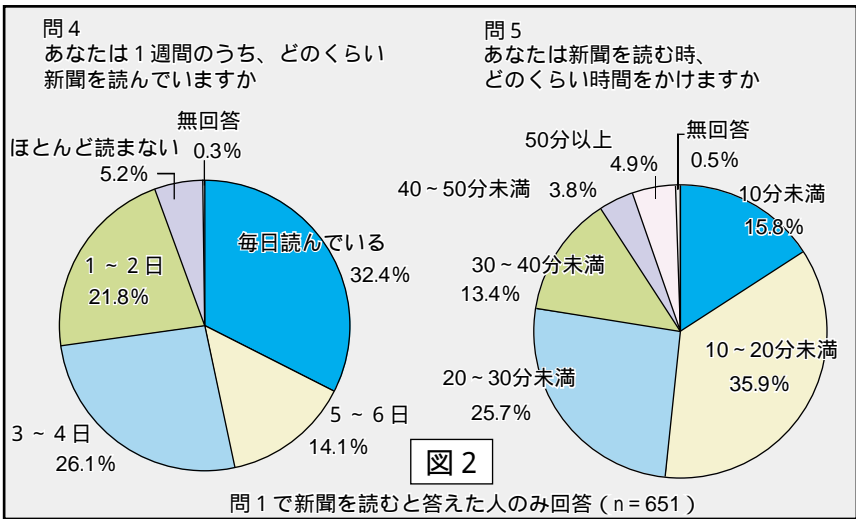
「附属図書館で読む」学生は、25.7%。本学学生の4人に1人が図書館を利用していることになる。ここでは中央紙、地方紙など18紙が閲覧できる(中央図書館2階エントランスで)

新聞読読アンケート

本紙が行った新聞読読アンケートで、23.7%の学生が毎日、新聞を読んでいると答えた。日本新聞協会が2001年に行った「第2回新聞の読者の調査」(従来の「全国新聞信頼度調査」に代わるもの)では、20代の44.7%が毎日読んでいると答えており、筑波大生の新聞離れが見られる。同時に、1週間のうち5日以上読む学生は34%、2日以下しか読まない学生が47%あり、読者の二極分化も浮き彫りになった。(取材班・阿部智浩、清原碧、佐藤良枝、時田備憲、社会学類、沼尻知子、廣野郁恵、望月和美、比較文化学類)

「10〜20分未満」最多の36%

減ったようだ。定期購読者を分野別にみると、文系で44%、理系で36%の学生が定期購読をしていた。学年別では1年生が25%で、2、3年生の45%、48%と開きが出た。問3の「新聞を読む動機」の回答からもうかがえるように、3年生に定期購読者が多いのは「就職活動に新聞は欠かせない」という学生の意識を表わしている。



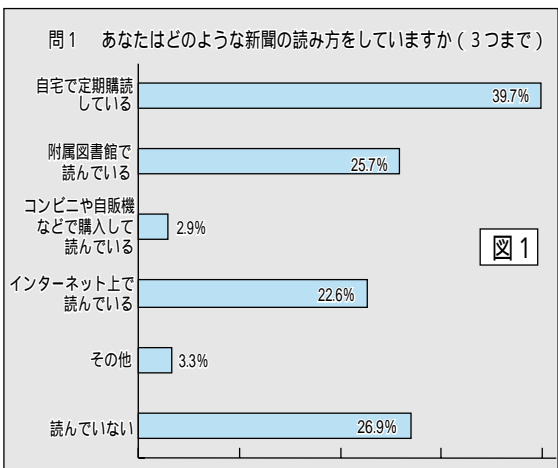
24%が「毎日読んでいる」

「附属図書館で読む」25.7%、「インターネット上で読む」22.6%だ

【あなたはどのような新聞の読み方をしていますか】 本学の第1回学生生活実態調査では、「何らかの形で新聞に接する学生が約2割」と答えた。1979年に実施された学生は94.9%だったの読み方をしていますか。この24年間にメディア環境が激変し、その結果新聞に接する学生が約2割と読まない」は5%だった。

「読む」「読まない」に「極分化」

【あなたはどのような新聞の読み方をしていますか(3つまで)】 自宅定期購読している39.7%、附属図書館で読んでいる25.7%、コンビニや自販機などで購入して読んでいる2.9%、インターネット上で読んでいる22.6%、その他3.3%、読んでいない26.9%。



「就職のため」29% 3年

【あなたは1週間のうち、どのくらい新聞を読んでいますか】 定期購読者に絞って聞くと、「毎日読んでいる」は51.7%だった。それに對し、協会の調査では84.6%が「毎日読んでいる」と答えている。このあたりにも本学学生の新聞接触状況の低さが見える。

【あなたは新聞を読む時、どのくらい時間をかけますか】 「あなたは何のために新聞を読んでいますか」を聞いてみると、「就職のため」が29%、3年生だけ28.9%に跳ね上がる。就職試験対策として新聞が重視されていることがわかる。



仲田 誠

筑波大学新聞が実施した新聞読読調査についてアンケート結果ができたので、この調査は新聞そのものについて聞くのが狙いなのか、筑波大学新聞について何か訊くのが狙いなのかよくわからない(そもそも質問数が少ない)。そういうことで、今回はアンケートの数字について細かい注釈をするより、これだして筑波大学新聞について文句なり、期待なりを書けということだ。

新聞の基盤 信用と信頼

変わったことではないのであつて、信頼される新聞の数字が今後伸びてくると、今度は、アンケートの数字について細かい注釈をするより、これをだして筑波大学新聞について文句なり、期待なりを書けということだ。昨日(11月4日)の朝日新聞を読んでいたら、都立大学のMという社会学者が新聞の役割について単細胞的な発言をしていて、こんな単細胞的な発言をカットせずにのせりて勝手なことを書きたい。(新聞自体は読んでいる人と読んでいない人の二極分化がはっきりしているという感じが筑波大学新聞に望むことは、筑波大学新聞だからといって特別に新しいものに過度に過

6割が「読む」

筑波大学新聞

【あなたは筑波大学新聞を読んでいますか】という問いには、60.5%の学生が何らかの形で読んでいると答えた。本紙はウェブ上でも紙面を公開しているが「インターネット上で読む」学生は0.3%と、学内では浸透していないようだ。

調査の方法

有効パーセント(該当する設問に回答していない標本を省いたパーセント)を採用した。分析には統計パッケージを利用した。分析は便宜上、人文、社会学類、理学系、工学系、農学系、芸術系の3分科に別れて行った。分析は便宜上、人文、社会学類、理学系、工学系、農学系、芸術系の3分科に別れて行った。

訂正

232号、特集面「バイオメカニクス」の記事で、「高橋佳三さん」は無回答も算入してパーセントを計算した。ただし、クロス集計結果については、

訂正 232号、特集面「バイオメカニクス」の記事で、「高橋佳三さん」は無回答も算入してパーセントを計算した。ただし、クロス集計結果については、

建築史の藤川教授、都市計画の野中助教授

町並み保存に学術協力

真壁町 測色調査で町の色掴む 明治の家屋配置を復元

「蔵と歴史の街づくり」を進める真壁町の歴史的な建造物の保存に、本学の教員学生が一体となって取り組んでいる。社会工芸系の藤川昌樹教授と芸術学系の野中勝利・助教



歴史的な家屋の測色調査を行う学生(真壁町の中村家で)

教授が中心となり、今年5月から基礎調査を始めた。調査は3年かけて町並みの特徴を探り、保存に向けた整備計画をまとめる。今月14日、同町の保存対策調査委員会に中間報告をした。真壁町は、江戸末期から戦前にかけての家屋が現在でも多く残っている。国の登録文化財が45件あり、町単位の全国1位を誇る。中心市街地の御陣屋前通りを「重要伝統的建造物群保存地区」に指定するため、保存の条例制定、文化庁への申請に必要な基礎調査を進めている。

調査は、民俗学など5分野で行う。藤川教授は建築史、野中助教授は都市計画を担当する。藤川教授は、1902年(明治35)に作成された家屋台帳をもとに、当時の町の平面図を作成した。約200軒を入力し、今後は家屋の配置など細かいデータ整理に移る。野中助教授は、測色調査

に取り組んでいる。保存状態の良い19軒を調査し、町並みの基調となっている色をつかむ。測色を行った李錫賢(イ・ソクヒョン)さん(人間総合科学研究科3年)は「家屋の保存状態は良いが、看板などの周辺要素に改善が必要だ」と話す。これらのデータから建築形態や外壁色の特色をつかみ、景観規制や新築・改築時のガイドラインの作成に活用するという。

今回の調査には、芸術学系の地域貢献室からも予算が出ている。真壁町歴史民俗資料館学芸員の寺崎大貴さん(人文学類94年度卒)は「筑波大が近いので、現地をじっくり調査できるし、相談にもすぐ対応してもらえると語っていた。

最終日にはバネリストと来場者が一緒になって議論し、ユネスコ事務総長や文化庁宛に世界遺産保護の意見書を作成した。従来の国際シンポジウムとは違い、意見交換が盛んに行われた。

日高健一郎教授(芸術学系)は「講演者だけでなく参加者も熱心で良い会議になった」と述べ、「今回は平日で東京での講演ということもあって学生の参加が少なかつた。次回は土日に筑波大周辺でやることも考えている」と次のシンポジウムを構想している。

3日間出席した松浦美菜子さん(国際1年)は「今回初めて遺産に関わる仕事や技術などを学ぶことが出来た。遺産保護についても詳しく調べたい」と話している。

大阪府立総合文化センターで開かれた「大阪府立総合文化センター」の展示。大阪府立総合文化センターの展示。大阪府立総合文化センターの展示。

大阪府立総合文化センターの展示。大阪府立総合文化センターの展示。大阪府立総合文化センターの展示。

世界遺産シンポジウム 専攻新設を記念して ユネスコへ意見書も

「世界遺産保護と大学の役割」をテーマに国際シンポジウムが10月27日から29日までの3日間、東京都港区の建築会館ホールで行われた。本学学生や他大学の学生、研究機関などから約250人が参加した。

本学の教員3人とユネスコや文化庁など遺産保護に関する機関から22人の計25人が参加し、講演した。シンポジウムは開学30周年記念事業として、来年度

の修土課程芸術研究科世界遺産と遺産保護の現状について

開会のあいさつで沢田正昭教授(芸術学系)は「アジアにおける世界遺産の保護は、国や価値を超えて普遍性を持っている」とし、

世界の中でも特に保存が危険視されているアジアの世界遺産について語った。また、関根久雄・助教(社会工芸系)は「ソノモン語

島における地域単位での開発と遺産保護の現状について

と詳しく調べたい」と話している。

原点

その3年後、私は地方の盲学校で理科を担当することになった。しかし、ここで私が出会った盲生徒たちは、実験に手を振り出すと、彼ら

は自分が理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。

その3年後、私は地方の盲学校で理科を担当することになった。しかし、ここで私が出会った盲生徒たちは、実験に手を振り出すと、彼ら

は自分が理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。

その3年後、私は地方の盲学校で理科を担当することになった。しかし、ここで私が出会った盲生徒たちは、実験に手を振り出すと、彼ら

は自分が理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。

その3年後、私は地方の盲学校で理科を担当することになった。しかし、ここで私が出会った盲生徒たちは、実験に手を振り出すと、彼ら

は自分が理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。

その3年後、私は地方の盲学校で理科を担当することになった。しかし、ここで私が出会った盲生徒たちは、実験に手を振り出すと、彼ら

は自分が理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。自分らが理科の実験をする。

盲生徒への理科実験 基礎指導の効果知る



鳥山由子

「世界遺産保護と大学の役割」をテーマに国際シンポジウムが10月27日から29日までの3日間、東京都港区の建築会館ホールで行われた。本学学生や他大学の学生、研究機関などから約250人が参加した。

本学の教員3人とユネスコや文化庁など遺産保護に関する機関から22人の計25人が参加し、講演した。シンポジウムは開学30周年記念事業として、来年度

の修土課程芸術研究科世界遺産と遺産保護の現状について

開会のあいさつで沢田正昭教授(芸術学系)は「アジアにおける世界遺産の保護は、国や価値を超えて普遍性を持っている」とし、

世界の中でも特に保存が危険視されているアジアの世界遺産について語った。また、関根久雄・助教(社会工芸系)は「ソノモン語

島における地域単位での開発と遺産保護の現状について

「蔵と歴史の街づくり」を進める真壁町の歴史的な建造物の保存に、本学の教員学生が一体となって取り組んでいる。社会工芸系の藤川昌樹教授と芸術学系の野中勝利・助教

教授が中心となり、今年5月から基礎調査を始めた。調査は3年かけて町並みの特徴を探り、保存に向けた整備計画をまとめる。今月14日、同町の保存対策調査委員会に中間報告をした。真壁町は、江戸末期から戦前にかけての家屋が現在でも多く残っている。国の登録文化財が45件あり、町単位の全国1位を誇る。中心市街地の御陣屋前通りを「重要伝統的建造物群保存地区」に指定するため、保存の条例制定、文化庁への申請に必要な基礎調査を進めている。

調査は、民俗学など5分野で行う。藤川教授は建築史、野中助教授は都市計画を担当する。藤川教授は、1902年(明治35)に作成された家屋台帳をもとに、当時の町の平面図を作成した。約200軒を入力し、今後は家屋の配置など細かいデータ整理に移る。野中助教授は、測色調査

に取り組んでいる。保存状態の良い19軒を調査し、町並みの基調となっている色をつかむ。測色を行った李錫賢(イ・ソクヒョン)さん(人間総合科学研究科3年)は「家屋の保存状態は良いが、看板などの周辺要素に改善が必要だ」と話す。これらのデータから建築形態や外壁色の特色をつかみ、景観規制や新築・改築時のガイドラインの作成に活用するという。

今回の調査には、芸術学系の地域貢献室からも予算が出ている。真壁町歴史民俗資料館学芸員の寺崎大貴さん(人文学類94年度卒)は「筑波大が近いので、現地をじっくり調査できるし、相談にもすぐ対応してもらえると語っていた。

最終日にはバネリストと来場者が一緒になって議論し、ユネスコ事務総長や文化庁宛に世界遺産保護の意見書を作成した。従来の国際シンポジウムとは違い、意見交換が盛んに行われた。

日高健一郎教授(芸術学系)は「講演者だけでなく参加者も熱心で良い会議になった」と述べ、「今回は平日で東京での講演ということもあって学生の参加が少なかつた。次回は土日に筑波大周辺でやることも考えている」と次のシンポジウムを構想している。

3日間出席した松浦美菜子さん(国際1年)は「今回初めて遺産に関わる仕事や技術などを学ぶことが出来た。遺産保護についても詳しく調べたい」と話している。

大阪府立総合文化センターで開かれた「大阪府立総合文化センター」の展示。大阪府立総合文化センターの展示。大阪府立総合文化センターの展示。

教職員文化作品展 絵画など力作展示

本学の教職員が制作した絵画や陶芸、生け花を展示する「教職員文化作品展」が11月5日から7日まで、大学会館別館ホールと附属病院1階の渡り廊下で行われた。毎年恒例の同展は、

興味を生かして作った力作を、他の教職員や学生に披露する場になっている。今年で25回目。

大学会館別館ホールには、絵画や陶芸、牛乳パックで

作ったコースターなど21点が展示された。正面に展示する「教職員文化作品展」が11月5日から7日まで、

大学会館別館ホールと附属病院1階の渡り廊下で行われた。毎年恒例の同展は、興味を生かして作った力作を、他の教職員や学生に披露する場になっている。今年で25回目。

見事な古代スポーツ史の成果 古代オリンピック

ジュディス・スワドリング著 穂積八洲雄訳

来年は特別なオリンピッククイヤーになる。それはオリンピックの故郷、ギリシャの地で開催されるからである。第1回近代オリンピックは1896年にアテネで開催されたが、さらに3千年ほど前に、ペロポネソス半島の西北部にあるオリンピックの地で、スポーツの祭典(古代オリンピック)が始まられ、それは1200年の長きに及んだ。

今日のオリンピックも、古代オリンピックの復興を旨としたものであった。では、その古代オリンピックとはどのような祭典であったのか。それを本書は余すところなく記している。

著者は、大英博物館古ニアの建物、競技施設、練習場などの模型を復原

して話題になった。その副主事を務め、1980年に大英博物館が「古代オリンピック展」を開催した時のオルガナイザーであった。この時の展示は、紀元前1000年ころ、つまりローマの影響

古代のスポーツの技術的な側面の解説は、今日の技術と比較しておもしろい。また大会の準備として、10カ月前、1カ月前、2日前と、当日までのようすが描かれていて、あたかもオリンピックで祭典を待っている者のように臨場感をもって読むことができる。また、大会のルールや女性の参加問題なども、現代との相違をつかむことができ、興味深く読めるであろう。

近代オリンピックと今日のオリンピックは、何が共通していて、何が違うのか。スポーツの実況に見入るだけではなく、スポーツの原点ともいえるべき、古代オリンピックに思いを馳せる一冊があつても、オリンピッククイヤーを迎える準備として、よいのではないだろうか。(NHK出版・1700円)

(体育科学系助教授)

大井洋講師(農林工芸系) 細谷修二教授(同)ら「平成14年紙バルブ技術協会賞」及び印刷朝陽会賞、石井一弘講師(臨床医学系)「(財)桐仁会設立10周年記念臨床医学研究助成金」岡本英高(生命環境科学研究科1年)、村沢裕介(バイオシステム研究科2年)「化学工学会秋季大会優秀発表賞」芳賀信光教授(体育科学系)「第30回大和証券ヘルス財団調査研究助成金」竹越一博講師(臨床医学系)「日本臨床検査医学会学会賞(生命科学賞)」柿山浩一郎(芸術学研究科4年)「日本感性工学会大会優秀発表賞」

「蔵と歴史の街づくり」を進める真壁町の歴史的な建造物の保存に、本学の教員学生が一体となって取り組んでいる。社会工芸系の藤川昌樹教授と芸術学系の野中勝利・助教



昼食時の混雑解消を求める声も多かった(体芸食堂2階で)

体芸食堂改善

「緑黄色野菜をもっと多く摂りたい」「アスリートへの配慮が全く欠如している」。体芸食堂に関するアンケートの自由記述の一部だ。

栄養学 献立に活かして アスリートに配慮を

管理栄養士の資格を持つ麻見直美講師(体育科学系)は、現行のメニューを「肉類が多い。エネルギー量は十分過ぎるほどだが、脂質に偏っている。ビタミンやミネラルは摂れず、栄養バランスへの配慮がない」と分析する。

今年度は平均3キロほど増えたという。配食業者のメニューは、状況に合わせて変わる。通常は、体を作るタンパク質を中心に、試合前は炭水化物が多くなる。川村監督は、「昨年は故障者が続出して頭が痛かった。今年は、選手が怪我に強くなり、ベストメンバーが揃う」と効果のほどを話す。

学食については現在、午前11時から午後2時までの営業時間を延長するよう望む声が多い。アンケートによると、午前7時半から8時半まで営業すれば、58%の学生が「積極的に利用する」と答えている。午後5時から10時では、74.5%が同様の回答をしている。

厚生会理事長の富江伸治副学長(学生生活担当)も、「利用者に限られ、経営が苦しいなか努力している」と話す。しかし、嵯峨寿・助教(体育科学系)は、「近隣に総合研究棟も建設中で、体芸食堂に求められているものは大きい」と改善を求める。

研究会では、アンケート結果を踏まえ、11月下旬に開かれる厚生会理事会で改善を要望する。(本紙・山口圭一「社会学類」)

「初めて選挙」今年20歳になった私にとって、今回の衆院選が初めての選挙体験になる。そこで奮然と、私の選挙体験記を書くことにする。

投票前1週間は立候補者と、政党の政策分析にあてられるだけあって、各党とも政策を全面に出している。膨大な量の政策を全て比較していくのは難しい。外交・防衛、経済、行政改革の3点に絞ってチェックすることにしよう。

「パソコンのせい」とは言えない しばらくすると、先生が心配顔で「できた？」と画面をのぞき込んできた。何回も迷惑かけすみません。心の中で平謝りを繰り返した。

「就活支援」ジュエルのOB・OG・内定者訪問に参加しませんか？

「選挙トト」11月9日、3年ぶりの衆議院総選挙が行われたが、こころが熱い。

「社学生圧勝、面目保つ」上位3人は、社会学が占め、面目を保った。国際には負けない」と声を弾ませた。

「軽く興奮、遠足気分」そして投票日。会場は自身も卒業した地元小学校の体育館。投票用紙を受け取る。前日に決めたとおり、その2分で投票は完了。

「選挙トト」11月9日、3年ぶりの衆議院総選挙が行われたが、こころが熱い。

「社学生圧勝、面目保つ」上位3人は、社会学が占め、面目を保った。国際には負けない」と声を弾ませた。

「就活支援」ジュエルのOB・OG・内定者訪問に参加しませんか？

「選挙トト」11月9日、3年ぶりの衆議院総選挙が行われたが、こころが熱い。

「社学生圧勝、面目保つ」上位3人は、社会学が占め、面目を保った。国際には負けない」と声を弾ませた。

「就活支援」ジュエルのOB・OG・内定者訪問に参加しませんか？

「選挙トト」11月9日、3年ぶりの衆議院総選挙が行われたが、こころが熱い。

「社学生圧勝、面目保つ」上位3人は、社会学が占め、面目を保った。国際には負けない」と声を弾ませた。

「就活支援」ジュエルのOB・OG・内定者訪問に参加しませんか？

「選挙トト」11月9日、3年ぶりの衆議院総選挙が行われたが、こころが熱い。

「社学生圧勝、面目保つ」上位3人は、社会学が占め、面目を保った。国際には負けない」と声を弾ませた。

筑波大生の新聞読読状況に関するアンケート 全数表

Table with 3 columns containing survey data. Column 1: Demographics (有効回答数891人, 標本集団の構成). Column 2: Reading frequency and time (Q1-Q6). Column 3: Reading content and methods (Q7-Q11).

